

故郷とあなたをつなぐ情報紙

ふくしまの



が分かる

新聞  vol.67

発行：福島県庁  
避難者支援課  
☎024-523-4250



平成30年5月22日(火) 発行

「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内外に避難されている皆さまや被災者・避難者支援に携わる多くの方々へ、避難者支援の取り組みや福島復興に向けた動きなど「ふくしまの今」が分かる情報をお届けします。

## 特集 富岡町

### 「特定復興再生拠点区域 復興再生計画」が国から認定

県内支援情報  
全国植樹祭 ふくしま2018



# 富岡町

## 「特定復興再生拠点区域復興再生計画」が 国から認定されました!

このたび、昨年9月の双葉町、11月の大熊町、12月の浪江町に続き、今年の3月9日に富岡町の「特定復興再生拠点区域復興再生計画」が国の認定を受けました。今回は、富岡町の現状や計画の内容を紹介します。

### 特定復興再生拠点区域復興再生計画とは

昨年の福島復興再生特別措置法改正により、帰還困難区域を抱える市町村は、避難指示の解除・住民の帰還等を指す区域（特定復興再生拠点区域）を定められるようになりました。この区域の復興・整備推進計画を「特定復興再生拠点区域復興再生計画」といい、国の認定を受けることで、道路、上水道等のインフラ復旧や除染・家屋解体等が一体的に行われます。

### 計画の内容

#### 概要

計画期間	2023年5月まで
避難指示解除による住民の帰還及び居住開始時期の目標	2023年春頃 ※JR常磐線及び夜ノ森駅周辺は2019年度末頃まで
居住人口の目標 (避難指示解除から5年後の目標)	約1,600人
事業所数の目標	約50社
営農者数の目標	約10人

#### 目標

「雇用」、「健康・福祉」、「教育」、「交流」をキーワードに、富岡町帰還困難区域再生構想に示した4つのゾーンの復興再生を図ります。

- **人と桜の共生ゾーン**  
良好な居住地機能の再生と、桜をはじめとした緑豊かな環境を目指す地域。
- **沿道型商業活性化ゾーン**  
既存商業施設の再生や拡充、新たな企業を誘致する環境を目指す地域。
- **農用地活用ゾーン**  
営農再開、新規農業、イノベーションコースト構想関連産業を集積する地域。
- **森林再生モデルゾーン**  
富岡町帰還困難区域再生構想で示した森林再生ゾーンの一部。

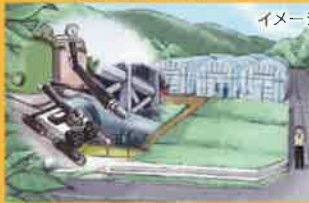
#### 人と桜の共生ゾーン



#### 森林再生モデルゾーン



#### 農用地活用ゾーン



#### 沿道型商業活性化ゾーン



#### 【凡例】

- 特定復興再生拠点区域（夜の森・大菅地区）
- 帰還困難区域

# 富岡町の現状

## 避難者の状況

住民登録人口 (2011年3月末現在)	15,830人
住民登録者数 (2018年5月1日現在)	13,185人 (県内避難者9,847人、 県外避難者2,719人)
町内居住者数 (2018年5月現在)	614人

## 区域の設定状況

2017年4月  
避難指示解除  
準備区域・  
居住制限区域解除



## 生活インフラ整備状況

商業施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「さくらモールとみおか」営業中</li> <li>●コンビニエンスストア2店舗、 金物店1店舗、 ガソリンスタンド4店舗が営業再開</li> <li>●JR富岡駅にコンビニがオープン</li> </ul>	教育	●小中併設校を開校 (2018年4月)
	医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町立とみおか診療所開所</li> <li>●富岡中央医院再開</li> </ul>	交通機関

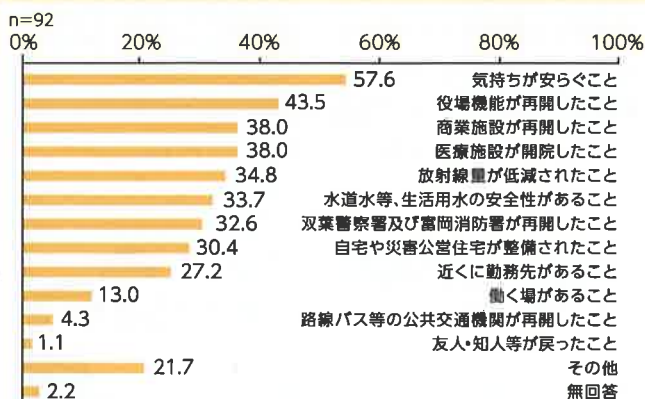
## 復興再生に向けたスケジュール

5年後の避難指示解除に向け、2020年度までの3年間で復興・創生期間と位置づけて展開。除染や被災した家屋の解体を進めつつ、電気・上下水道の復旧、生活インフラの整備などを一体的に実施します。

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023~2027	...
	(国)復興・創生期間						
特定復興 再生拠点 区域	復旧期					復興再生期	
	本格除染・被災家屋解体						
	電気・上下水道復旧						
	衣食住などの生活環境の検討と整備						
							
				避難指示解除議論			
				計画変更の検討・認定			
						復旧期	
拠点以外	つながり支援の継続						

## 富岡町に戻ることを決めた理由

復興庁の「富岡町住民意向調査」によると、既に町内で生活している人が帰還を決めた理由は次の通りです。



## 福島県ふたば医療センター 附属病院が富岡町にオープン!

4月23日(月)、福島県ふたば医療センター附属病院が診療を開始しました。双葉郡の地域医療を支える拠点としての役割が期待されています。診療科は救急科と内科で、病室は全個室30床です。24時間365日にわたって救急医療に対応します。また地域の医療機関と連携して訪問診療や訪問看護も実施。このほか健康講座や研修会も開催し、地域住民の健康増進を支援します。





# 住宅の二重ローン返済の支援について

東日本大震災時に、半壊以上の被害を受けた住宅でローンが500万円以上残っていた方が、福島県内で住宅を購入・建設または建物の修繕のために、新たに資金を500万円以上借り入れた(または借り増した)場合、既存の住宅ローン5年分の利子相当額(最大140万円)を一括補助します。

※本事業は1年間延長となり、平成30年度も実施いたします。

平成30年3月末時点で  
209件ご活用  
いただいております。



**申し込み手続き** 新たな住宅資金を借り入れた金融機関を通じて申し込みできます。住宅ローンを取り扱う金融機関や手続きの詳細は、下記ホームページをご覧ください。

問 ●被災者向け住宅相談窓口 ☎024-521-7698  
●県庁建築指導課分室 ☎024-521-5764

福島県二重ローン

## 被災中小企業者の二重債務支援決定期間が延長になりました

被災中小企業の震災前債務と震災後債務との二重債務問題等を支援している下記両機構による支援決定期間が延長になりました。震災前債務と震災後債務の二重債務(二重ローン)問題、事業の復旧・復興などで悩んでいる被災事業者を「(株)東日本大震災事業者再生支援機構」と「福島産業復興機構」がサポートします。震災前の借入金がある方は支援の可能性ありますので、下記の連絡先へご相談ください。

### (株)東日本大震災事業者再生支援機構

**支援決定期間** 2021年3月31日まで  
**連絡先** 郡山出張所 ☎024-935-7252  
**相談受付時間** 午前9時～午後6時(土日、祝日を除く)

東日本大震災事業者再生支援機構

### 福島産業復興機構

**支援決定期間** 2019年3月31日(当面)まで  
**連絡先** 福島県産業復興相談センター  
☎024-573-2561  
**相談受付時間** 午前8時30分～午後5時15分  
(土日、祝日を除く)

福島県産業復興相談センター

問 福島県経営金融課 ☎024-521-7288



## 近隣6県へ教員を派遣しています

福島県教育委員会では、近隣6県に14名の教員を派遣し、学校の教育活動を行いながら、避難児童・生徒の学習の支援や心のケアにあたっています。

派遣教員に相談等がありましたら、派遣教員の配置校へご連絡ください。



派遣先	配置校	氏名	電話番号	派遣先	配置校	氏名	電話番号
宮城県	白石市立白石第二小学校	柏木 孝昭	☎0224-24-2676	茨城県	つくば市立桜並木学園並木中学校	平田 雅一	☎029-851-7100
宮城県	角田市立角田中学校	和田 陽輔	☎0224-63-1141	埼玉県	加須市立騎西小学校	五十嵐 友子	☎0480-73-0004
山形県	山形市立桜田小学校	田島 裕司	☎023-624-5083	埼玉県	加須市立騎西中学校	清水 恒	☎0480-73-0039
山形県	米沢市立第七中学校	小針 貴広	☎0238-26-9211	新潟県	柏崎市立比角小学校	荒川 俊之	☎0257-22-5213
栃木県	那須塩原市立大山小学校	黒瀧 七重	☎0287-36-4192	新潟県	新発田市立本丸中学校	橘 健一	☎0254-22-2525
栃木県	大田原市立大田原中学校	菅野 広志	☎0287-23-3161	新潟市	新潟市立亀田東小学校	小山 竜	☎025-381-4196
茨城県	水戸市立緑岡小学校	本間 比呂樹	☎029-241-1923	新潟市	新潟市立鳥屋野中学校	松本 和久	☎025-285-7201

※配置校で学級担任や授業を担当しておりますので、お電話は放課後の時間帯にお願いします。

問 教育庁義務教育課 ☎024-521-7761

## 県外に避難している児童・生徒・保護者のための電話相談

福島県教育委員会では、県外に避難している児童・生徒・保護者のために、24時間電話相談を行っています。

**連絡先** ふくしま24時間子どもSOS ☎0120-916-024

**相談受付時間** 24時間





## 空き家を活用した 住宅再建を支援します

〔空き家・ふるさと復興支援事業〕

被災者、避難者、県外からの移住者が、自ら居住するため空き家を購入または賃借して改修等を行う場合に改修費用の一部に補助を行います。

**募集期間等** 平成30年4月27日～  
平成30年12月28日  
※先着順、予算枠に  
達した時点で終了

**問** 県庁建築指導課 ☎024-521-7528  
または最寄りの県建設事務所建築住宅課



## 住宅再建を希望する 被災者等に工務店等の 情報を提供します

〔復興住宅マッチングサポート制度〕

住宅の改修や建替を希望する被災者及び避難者等に工務店・設計者・不動産業者等の情報を提供します。



**問** 福島県地域型復興住宅推進協議会  
☎024-521-4033

## 福島県復興公営住宅の入居者募集について

原子力災害により現在も避難指示を受けている方及び避難指示が解除された区域の方が入居できる復興公営住宅の募集を行います。

**募集期間** 5月1日(火)～5月22日(火)【当日消印有効】

募集の詳細(日程、対象団地、入居要件等)については、福島県復興公営住宅入居支援センターまでお問い合わせください。

**問** 福島県復興公営住宅入居支援センター ☎024-522-3320

復興公営住宅 入居 [検索](#)

復興公営住宅の整備状況に関する情報はこちらから

復興公営住宅 進捗 [検索](#)

### 今後の募集及び入居予定

第2回	平成30年7月2日(月)～13日(金) →平成30年9月入居予定
第3回	平成30年9月3日(月)～14日(金) →平成30年11月入居予定
第4回	平成30年11月1日(木)～15日(木) →平成31年1月入居予定
第5回	平成31年1月7日(月)～18日(金) →平成31年3月または4月入居予定



## 平成31年度福島フランス料理研修奨学生を募集します

平成23年に発生した東日本大震災の被災者や福島県の子どもたちに、フランス料理や音楽、パフォーマンスにより笑顔を届ける活動を行ってきた「ラ・キャラバン ボン・アペチ」が、フランス料理のシェフを目指す福島県の若者を対象に、支援を行います。

応募資格	①平成23年3月11日時点で福島県内市町村の住民基本台帳に記録され、または外国人登録原票に登録されていたこと ②平成31年3月に高等学校等を卒業見込みの高校3年生であること ③日本調理技術専門学校でフランス料理を修学し、卒業後はフランス料理の料理人として就業する意思があること			
奨学金	①日本調理技術専門学校の授業料1年間(1年制コースのみ) ②卒業後、本人の意思と素質により東京、フランスでの料理研修を あっせん、支援する。フランスへの往復航空券等を提供する。			
募集人数	2名程度			
募集期間	6月1日～7月31日(必着)			
奨学生 決定までの流れ	①応募受付 平成30年6月～7月	②適性評価試験 平成30年8月	③奨学生の決定 平成30年9月下旬	④奨学金の支給開始 平成31年4月～



応募方法や選考方法については、下記へお問い合わせください。

**問** 郡山市文化スポーツ部国際政策課 ☎024-924-3711

# 第69回 全国植樹祭 福島 2018

育てよう 希望の森を いのちの森を

開催日

平成30年 6月10日(日)

48年ぶりに福島県で開催!

全国植樹祭は、森林・緑に対する理解を深める緑化運動の中心的行事です。南相馬市で行われる記念式典では、天皇皇后両陛下にお手植え・お手播きを賜ります。大会当日は、県内各地にサテライト会場・PR会場を設け、式典の様子を中継します。

**サテライト会場**  
ふくしま県民の森

**PR会場**  
福島駅  
東口駅前広場

**PR会場**  
会津  
総合運動公園

**PR会場**  
郡山駅  
西口駅前広場

**PR会場**  
白河駅前  
イベント広場

**式典会場**  
南相馬市原町区幸地内  
〔海岸防災林整備地〕  
東日本大震災以降、被災地では  
初めての大会となります。

大会ポスター原画▶

第69回全国植樹祭福島県実行委員会事務局  
☎024-521-8628  
福島県 全国植樹祭

## ふくしま Voice

帰還した人、起業した人、  
移住してきた人の声を紹介します。

平成27年、玉川村地域おこし協力隊に採用されたことから玉川村に移住しました。母の実家が郡山市にあり、幼少時から訪れていたこともあって漠然と福島県に住みたいと思っていたんです。東京で一度就職したものの「後悔したくない」と思い立ち、郡山市にも近い玉川村への移住を決断しました。

協力隊では3年間、特産品「ざるなし」のPRなど観光情報発信に携わりました。現在は協力隊を卒業し、平成29年12月にできた玉川村観光物産協会に所属。会員募集やホームページ開設準備などに取り組んでいます。

移住前には暮らしへの不安がありましたが、村のみなさんが優しいばかりなので助けられました。私もたくさん優しくしていただいた分、来村された方に優しく対応し、喜んでいただきたいと思います!

Vol.1 荻野育恵さん  
(新潟県出身)

これが玉川村の  
ざるなし!

村産産物加工施設で  
協会員とピザを調理!

玉川村の金盞花桜  
任務の美しさです!



☎ 玉川村観光物産協会 ☎0247-57-4629 facebook : <https://www.facebook.com/tamakawa.kanko/>

